

緊急消防援助隊設備整備費補助金の補助メニューの充実

応急対策室

緊急消防援助隊設備整備費補助金は、平成15年6月に緊急消防援助隊が消防組織法に位置付けられたことに伴い、緊急消防援助隊用消防車両等の計画的な整備を国として進めるために、部隊を構成する市町村等に対して行う補助制度です。

緊急消防援助隊設備整備費補助金の補助対象施設は、総務大臣が定める「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」に基づいて整備される施設で「緊急消防援助隊に関する政令」で定めるものとされ、その経費について予算の範囲内で国が補助することとされています(消防組織法第49条第2項)。

「緊急消防援助隊に関する政令」で定める対象施設は、

- ① 消防ポンプ自動車、救助工作車、救急自動車、その他の消防用自動車
- ② 航空機、消防艇
- ③ 救助用資機材、救急用資機材等
- ④ 消防救急デジタル無線等

です。

消防庁では、緊急消防援助隊の体制の更なる充実・強化を図るために、平成20年度より新たな補助メニュー(補助対象設備)を追加しましたので紹介します。

1. 「海水利用型消防水利システム」

(1) 概要

大規模地震災害時には、水道管の破裂などにより消火栓が使用不能になることが想定され、また、耐震性貯水槽や河川等の有効な水利が火災現場などの近くに必ずあるとは限りません。

そのため、大規模災害発生時に火災が大規模化した場合などに、水源として豊富にある海水を大量かつ遠距離送水するシステムです。

このシステムは、平成15年の十勝沖地震に伴って発生した北海道苫小牧市の石油タンク火災において活用され、効果を発揮しています。

(2) 主な仕様

大量かつ長距離の送水を可能とするため、取水送水機能部の「大型動力ポンプ付消防自動車」と送水管延長機能部の「ホース延長車」の2台1組で運用。

- 「大型動力ポンプ付消防自動車」
 - ・ 悪路走破性の高い四輪駆動車
 - ・ 毎分4,000ℓ以上の送水能力
- 「ホース延長車」
 - ・ 悪路走破性の高い四輪駆動車
 - ・ 口径100mm以上の特殊な消防ホースを自動的に2線延長が可能



ホース延長車

大型動力ポンプ付消防自動車



2. 「災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車」

(1) 概 要

大規模地震等の災害時に、消火栓等の使用不能により有効な消防水利の確保が困難な場合に、大容量の水槽と小型動力ポンプを積載した機動性のある消防車両を火災現場に出動させ、火災の延焼を防止します。

(2) 主な仕様

- ・水槽の容量は10m³以上
- ・給水・放水等に必要な小型動力ポンプを積載



災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車

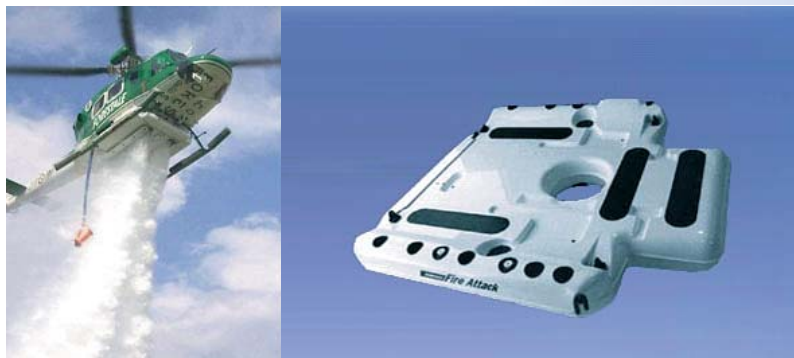
3. 「ヘリコプター消火用タンク」

(1) 概 要

大規模な林野火災等において、救助消防ヘリコプターの機体下部に取り付け、安全かつ効果的な空中消火を実施します。

(2) 主な仕様

脱着式で、500ℓ以上の容量を有する。



ヘリコプター消火用タンク

4. 「流水救助器具」

(1) 概 要

大規模水害発生時等における河川等の流水域において、要救助者をより安全・確実・迅速に救助するとともに救助隊員の安全性の向上を図るために、従来の救助用資機材のうち、



救命胴衣 (PFD)



水難救助用ヘルメット



スローバッグ

ち、潜水救助や静流水域の救助活動に対応した水難救助器具に流水救助器具一式を新たに追加しました。

(2) 主な仕様

- ・大きな浮力と確実な装着ができる「救命胴衣 (PFD)」
- ・浮力があり軽量かつフィット性が高く衝撃吸収性がある「水難救助用ヘルメット」
- ・浮力のあるバックに浮力のあるロープを収納した「スローバッグ」

消防庁では、国民の安心・安全を確保するため、今後とも、このような取組を図り緊急消防援助隊の体制整備の充実強化を継続的に実施していきます。